

子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン in 岩手 報告書



【子どもが真ん中の復興へ つながる岩手 全国キャラバン in 岩手 開催】

4月21日（土）、盛岡市勤労福祉会館で開催された「全国キャラバン in 岩手」には、106 人の方々にご参加いただきました。このキャラバンは岩手県と盛岡市の共催で開催しました。

キャラバンでは、小河光治・代表理事のあいさつに続いて、来賓として八重樫幸治・岩手県保健福祉



部長と藤澤忠範・盛岡市子ども未来部部長にごあいさついただきました。駒木豊広・岩手県保健福祉部子ども子育て支援課子ども家庭担当課長と佐久山久美子・盛岡市子ども未来部子ども青少年課課長補佐兼子ども家庭総合支援センター所長からは行政報告をしていただきました。

そして、現地で子ども食堂に携わっている、岩手医科大学医学部2年 小林春彦さん、盛岡大学短期大学部2年 山下風香さん、岩手大学人文社会科学部2年 菅原千尋さん、盛岡白百合学園高等学校3年 遠山桜さん、岩手県立大学社会福祉学科卒業、野辺地香澄未さんに活動報告をしてもらいました。「子どものときの経験は強く頭と心に残ると思います。子ども食堂を通して楽しい思い出を作るお手伝い出来ることを嬉しく思います」と遠山さんは話してくれました。

パネルディスカッション『岩手の子どもたちの今と未来』では、山屋 理恵・NPO 法人インクルいわて理事長、高橋 岳志・かな福祉相談支援事務所 代表、櫻 幸恵・岩手県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科准教授、長島 明子・たかたゆめキッチン実行委員会が登壇。コーディネーターは小河光治・代表理事が務めました。



リレートークでは、当日参加された研究者の方から弁護士、民間企業の方、大学生と幅広い方々に活動内容と子どもたちへの想いをお話いただきました。また、参加者の皆さんには「子どもたちへの想い」シートというのも会場で記入してもらいました。どのシートも子どもたちへの優しさに溢れていました。

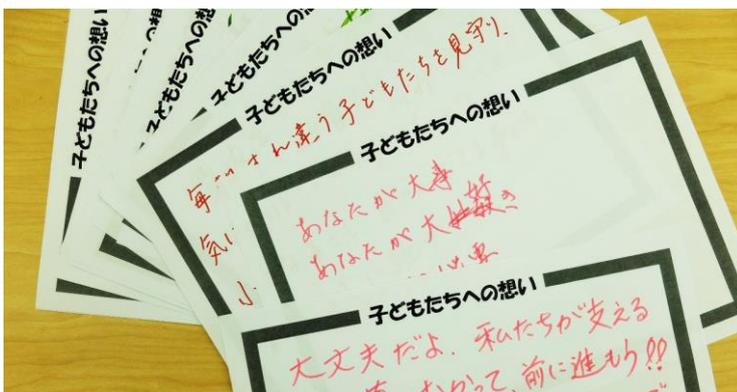


総合司会は、花城わかな・あすのば学生サポーターが務めました。

参加者からは、「自分の住んでいる地域に対して、どこか無力感やあきらめの思いがあった。けれど、今日のキャラバンで様々な取り組みや、支援者の方々の思いを聞いて、まず、自分の周りに目を

向けることから始めたいと思った（20代女性）「連鎖を断ち切るためには、つながる行動が必要という事が良いと伝わった（60代女性）」

「高校生や大学生が子どもたちとの関わりの中で感じていることや思い変化について生の声が聞けて、自分にもっとできることがあると感じ、実際に動いていこうと思う（40代男性）」「子どもの貧困という問題に対し、自分一人の行動の変化でも、大きな変化になるという認識をもつことができました。また、この問題について真剣に危機感



をもっていこうと思いました（20代女性）」などの感想が寄せられました。

今回の全国キャラバン in 岩手は、NPO 法人インクルいわてのみなさまにご協力いただき、子どもの貧困問題に携わっている方々・団体の協力で開催することができました。後援、助成くださいましたみなさま、ご参加いただきましたみなさまに心からお礼申し上げます。

【子どもが真ん中の復興へ つながる岩手 全国キャラバン in 岩手】

【主催】 公益財団法人あすのば

【共催】 岩手県 盛岡市

【後援】 内閣府 復興庁岩手復興局 岩手県教育委員会 岩手県社会福祉協議会
盛岡市社会福祉協議会 岩手県生活協同組合連合会 盛岡商工会議所
岩手弁護士会 岩手県私学協会 岩手大学 岩手県立大学 盛岡大学 盛岡短期大学

【助成】 公益財団法人キリン福祉財団

【協力】 NPO 法人インクルいわて

【参加者数】 106 人